

《担当者名》○鎌田樹寛 t.kamada@hoku-iryu-u.ac.jp 吉田彩華

【概要】

本講義は、DP6に該当する。具体的には、研究とは何かを知り、基本的な研究・発表手法を学ぶ。また、報告された論文を科学的な態度で吟味し、研究に関する倫理感、客観的視点を学修し、作業療法に関する「根拠に基づいた合理的思考」を身につける。

【学修目標】

一般目標

作業療法に必要な研究についての基本を修得するために、必要な概念や知識および研究倫理について学び、4年次卒業研究に汎用できることを目標とする。

行動目標

1. 作業療法のart and scienceを説明できる。
2. 研究の必要性について説明できる。
3. 研究の流れを説明できる。
4. 研究目的と意義について説明できる。
5. 事実に基づく実践のレベルについて説明できる。
6. 研究上の疑問(クリティーク・レビュー)について説明できる。
7. 研究に必要な基本知識を説明できる。
8. 研究デザインについて説明できる。
9. 尺度に関する知識を説明できる。
10. 統計的検定の概略について説明できる。
11. 倫理的問題点について解釈し配慮の方法を説明できる。
12. 質的研究について説明できる。
13. 量的研究について説明できる。
14. 研究計画書・論文・報告書の書き方や発表の方法について説明できる。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|---|---------------------------|---------------------------------------------------------------------|------|
| 1 | オリエンテーション 作業療法における研究とは | 1. 研究法を学ぶにあたって 2. 作業療法のart and scienceを学ぶ 3. 研究の必要性について学ぶ | 鎌田樹寛 |
| 2 | 研究の過程 | 1. 研究の流れを学ぶ 2. 研究目的と意義について学ぶ 3. 事実に基づく実践のレベルについて学ぶ | 鎌田樹寛 |
| 3 | 研究の過程 | 1. 研究上の疑問(クリティーク・レビュー)について学ぶ 2. 研究に必要な基本知識を学ぶ 3. 研究デザインについて学ぶ | 鎌田樹寛 |
| 4 | 研究の過程 | 1. 尺度に関する知識を学ぶ 2. データの意味に関する事柄を学ぶ 3. 統計的検定の概略について学ぶ | 鎌田樹寛 |
| 5 | 研究倫理 | 研究における倫理的問題点の理解と配慮の方法を学ぶ | 鎌田樹寛 |
| 6 | 研究手法 | 量的研究について学ぶ | 吉田彩華 |
| 7 | 研究手法 | 質的研究について学ぶ | 吉田彩華 |
| 8 | 発表の方法 | 研究計画書・論文・報告書の書き方や発表の方法について学ぶ | 吉田彩華 |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

中間試験：第1～3回講義領域範囲から30%

課題提出：第5回(研究倫理)の領域範囲から20%

定期試験：第4、6～8回講義領域から50%

【教科書】

山田孝 他 著 「作業療法研究法（第2版）」 医学書院 2012年
適宜資料を配布する。

【参考書】

友利幸之介 他 著 「作業で創るエビデンス」 医学書院 2019年
竹田徳則 他 著 「作業療法研究法」 医歯薬出版 2017年
草間悟 著 「勉強・研究・発表の技法」 南江堂 2001年
鎌倉矩子 他 著 「作業療法士のための研究法入門」 三輪書店 1997年

【学修の準備】

- ・予習では、教科書を読み準備すること（80分）。
- ・復習では、研究セミナー と関連づけて、関心を持った研究論文の検索を積極的に行い、読んでみること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP6）社会の変化や科学技術の進歩に対応できるよう、常に専門領域の検証と、積極的な自己研鑽および作業療法科学の開発を
実践できる能力を身につけている。

【実務経験】

鎌田樹寛 吉田彩華（作業療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床経験に基づく研究疑問の生成や研究活動の推進を念頭に行う。